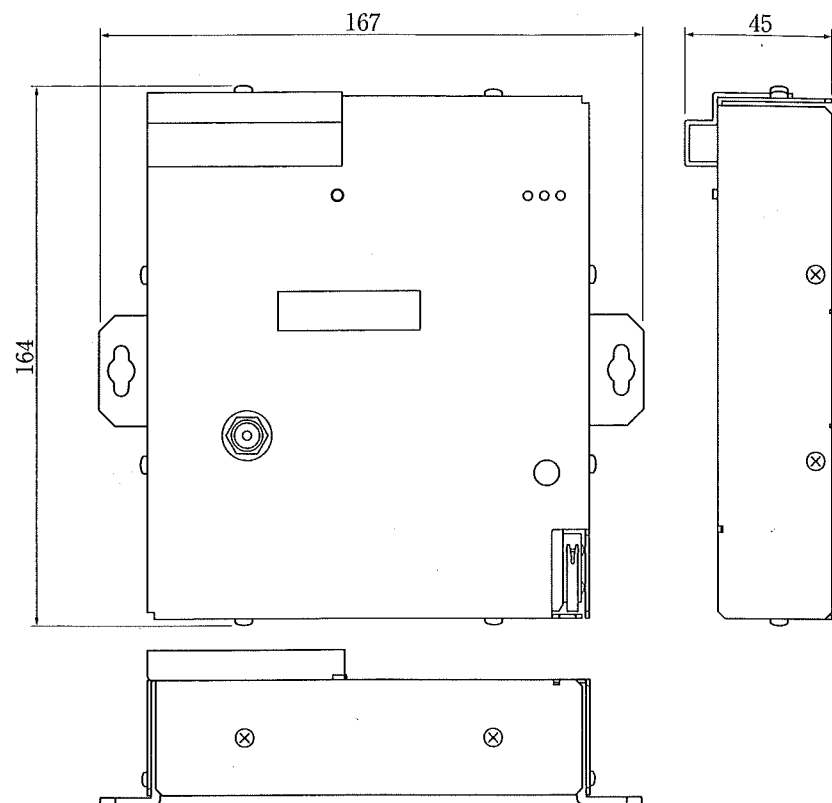


8. 外 観 図



STK-104

(単位 : mm)

ステータスマニタユニット

品番 STK-104

取扱説明書

DXアンテナ株式会社

このたびは、DXアンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この製品を正しく理解し、ご使用いただくために、取扱説明書をよくお読み
ください。

お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。

◎安全上のご注意



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容であることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な
禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的
な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が
描かれています。



警告 この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡また
は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店も
しくは工事店にご相談ください。



- 表示された品番以外の増幅器で使用しないでください。火災・感電の原因と
なります。



- 高所に設置する場合は、足場と安全を確保して行なってください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- 風の強い日や、雨、雪、雷などの天候の悪い日は、危険ですから設置工事や
点検をしないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- この製品を接続するケーブルには電流が流れることがありますので、ショ
ートしないようにしてください。火災や感電の原因となります。



- この製品に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。雨天での
設置工事や点検・調整でこの製品を設置する増幅器の蓋を開けないでくださ
い。火災・感電の原因となります。



- この製品を設置・点検・調整した後は、正しくこの製品を設置する増幅器の
蓋を閉めてください。水が入ったりして、火災・感電の原因となります。



- 万一内部に水が入った場合は、まずこの製品に供給している電源を切り、水
をよく拭き取ってから、電源を供給してください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この製品を分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造は
しないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくな
り、故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火
災・感電の原因となります。すぐにこの製品に供給している電源を切り、煙
がでなくなるのを確認してCATV施設の管理者もしくは工事店に修理をご依
頼ください。



- 取り付けネジやボルトや接栓は、指定している力（トルク）で締め付け、堅
固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因
となります。



- この製品や部品や工具類を高い所から落とさないでください。
けがの原因となります。



- 雷が鳴り出したら、この製品にはふれないでください。
感電の原因となります。



目 次

1. 機器概要	2
2. 特 長	2
3. 規格とブロックダイアグラム	
(1) 規格	2
(2) ブロックダイアグラム	3
4. 各部の名称	4
5. 操作説明	
(1) 取り付け、取りはずし	5
(2) 調整方法	6～7
6. 使用上の注意	8
7. 付 属 品	8
8. 外 観 図	9

1. 機 器 概 要

この製品は、HFC-CATVシステムの伝送ラインで使用される増幅器の運用状態を監視および制御することが可能なステータスモニタユニットです。

2. 特 長

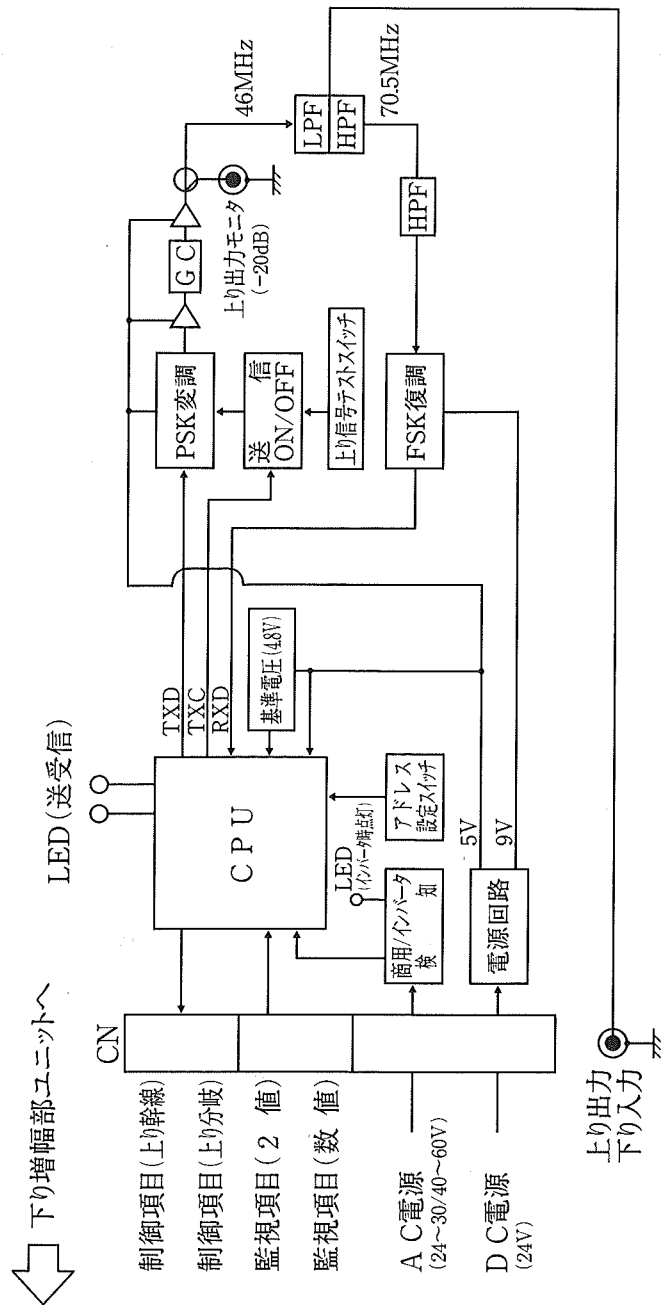
- ・770MHz帯双方向CATVシステムに対応しています。
- ・日本CATV技術協会規格の標準仕様にも対応しています。
- ・上り幹線増幅部や上り分岐増幅部の制御（通過および阻止）が可能です。

3. 規格とブロックダイアグラム

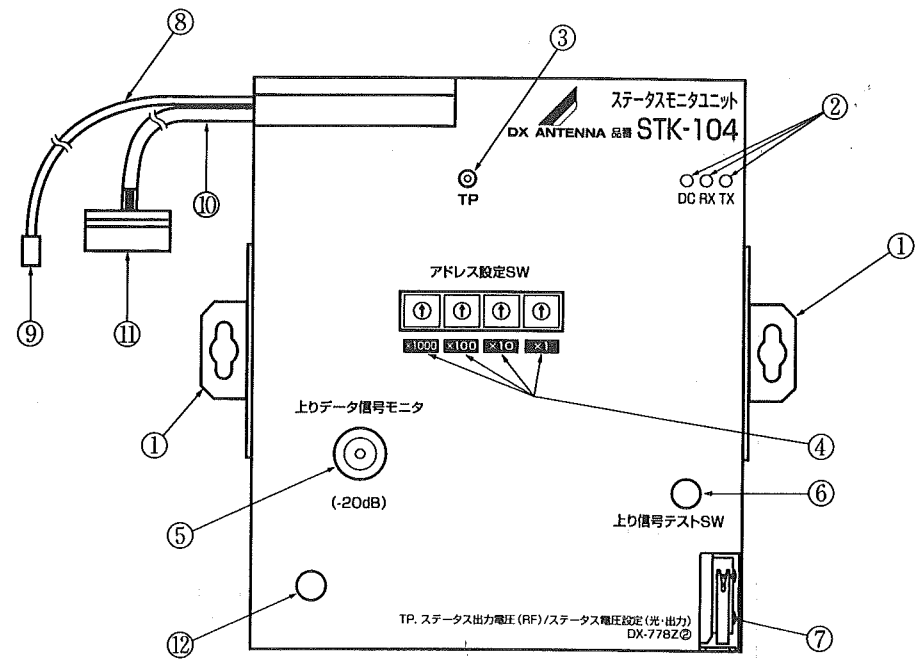
(1) 規格

項 目	規 格
受 信 周 波 数 (MHz)	70.5
適正入力レベル範囲 (dB μ)	40～90
送 信 周 波 数 (MHz)	46.0
出 力 レ ベ ル 範 囲 (dB μ)	88～108
変 調 方 式	PSK
デ ー タ 転 送 速 度 (bps)	9600
回 線 制 御 方 式	ポーリング／セレクトィング
設定可能アドレス	1～9999 (0は不可)
消 費 電 流 (mA)	約150 (受信時)
電 源 電 圧 (V)	DC24
外 形 寸 法 (mm)	164(H)×167(W)×45(D)
質 量 (kg)	0.61

(2) ブロックダイヤグラム



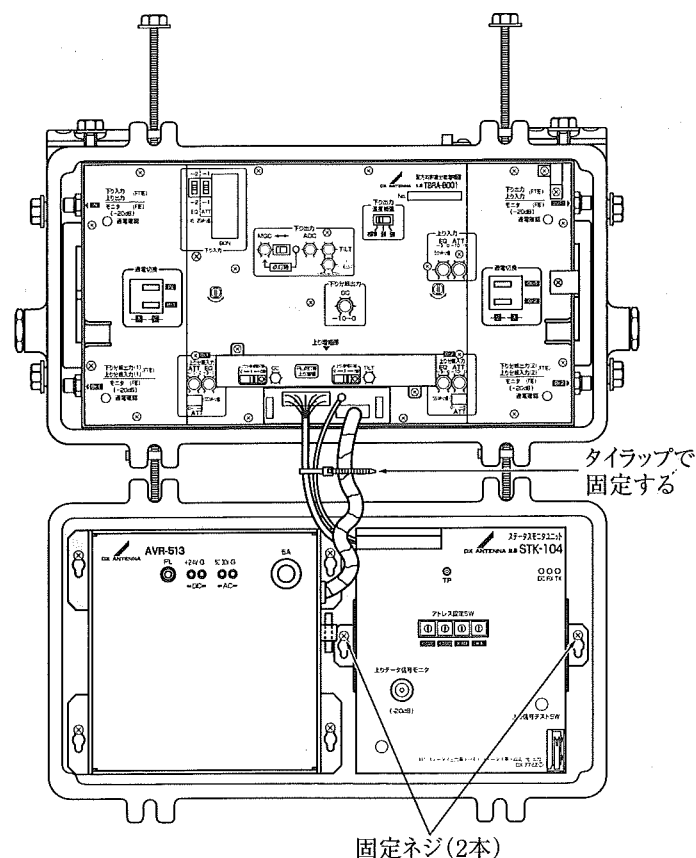
4. 各部の名称



- | | |
|-------------------|------------------------------------|
| ① ユニット固定部(2 か所) | ⑦ フタ開閉検出スイッチ |
| ② モニタ用LED(3 個) | ⑧ ステータスRFケーブル |
| ③ ステータス電圧テスト端子 | ⑨ ステータスRFコネクタ |
| ④ アドレス設定スイッチ(4 個) | ⑩ ステータス信号ケーブル |
| ⑤ 上りデータ信号モニタ端子 | ⑪ ステータス信号コネクタ |
| ⑥ 上り信号テストスイッチ | ⑫ 上りデータ信号出力レベル調整
(TBRA-8151用のみ) |

5. 操作説明

(1) 取り付け、取りはずし



本ユニットを取り付けは、付属の固定ネジ（2本）を仮止め後、図のように本ユニットを装着し、固定ネジを締め付けてください。

取り付け後、ステータス信号コネクタ、ステータスRFコネクタを下り増幅部（ベース部）ユニットに差し込み、図のようにタイラップでケーブルを固定してください。

※取りはずしは、取り付けの逆の作業を行ってください。取付時にはネジは、約180N・cmでしっかりと締め付けてください。

(2) 調整方法

調整は、ステータスモニタユニット（STK-104）のスイッチ、下り増幅部（ベース部）ユニットのボリュームを使用して行います。

① アドレスの設定

アドレスの設定は、アドレス設定スイッチ（ロータリースイッチ、4個）で行います。

設定範囲は、1～9999までの任意の番号が設定できます。なお、アドレスを0には設定できません。

アドレス設定スイッチを設定し、ステータス信号コネクタを下り増幅部（ベース部）ユニットに差し込むことで動作を開始します。途中でアドレスを変更するときは、アドレス設定スイッチを変更後、一度ステータス信号コネクタを下り増幅部（ベース部）ユニットから抜き、再び差し込むことで、本ユニットはリセットされ、変更したアドレスによる動作を開始します。

② 動作状態の確認

・モニタ用LED

DC…… 本機に給電している電源装置において、無停電動作（インバータ動作）により、電源波形が矩形波となった時に点灯します。

RX…… センター装置より出力される下りステータス信号を受信したときに点灯します。

TX…… 本機よりセンター装置に上りステータス信号を出力する時のみ点灯します。

・テスト端子

下り信号のパイロット信号レベルの変換電圧が測定できます。**標準出力時にDC3.0Vが出力されます。**下り増幅部（ベース部）ユニットのステータスモニタ調整ボリュームで調整します。

※ステータスモニタ調整ボリュームは出荷時に調整されていますので、む

やみにさわらないでください。誤動作の原因となります。

・上りデータ信号モニタ端子

本ユニットより出力される上りデータ信号を出力します。ユニット出力より20dB低い値でモニタできます。

また、上り信号テストスイッチを押すことによって、本ユニットより上りデータ信号を強制的に出力させ、動作を確認することができます。なお、上りデータ信号は上り信号テストスイッチを押している間だけ出力されます。

※上りデータ信号出力レベル 46MHz値 (モニタレベル)

OTR-8002, TRA-8001, TBRA-8001取付時 **98dB μ** (78dB μ)

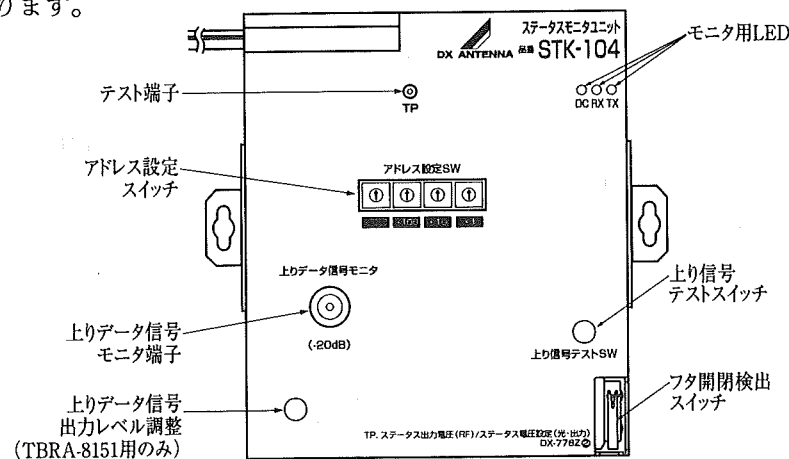
ERA-8001取付時 **91dB μ** (71dB μ)

TBRA-8151取付時 **96dB μ** (76dB μ)…標準値^(注)

注：出荷時はアンプ間の距離がフルスパンでの運用レベルに設定されておりますが、アンプ間の距離が短い場合や、システムにフラットロスがある場合、上りデータ信号出力レベル調整ボリュームを回し、再調整する必要があります。この時アンプ側で上り帯域のレベル調整を行なった後、STK-104の上りデータ信号出力レベルを上り帯域のレベルから10dB低い値に調整してください。

※フタ開閉検出スイッチは、ダイカストケースのフタの開閉を検出するスイッチです。

スイッチ部に無理な力を加えないでください。誤動作や故障の原因となります。



6. 使用上の注意

1. ユニットを取り付ける場合、脱落防止のため、増幅器のフタ締付ボルトは十分に緩めた後（約2回転後）は手で緩めてください。
2. ユニットを取り付け後、増幅器のフタを閉める時は、防水パッキンが曲がっていないことを確かめ、AVRユニットおよびステータスモニタユニットのケーブルを挟まないようにフタ締付ボルトで締め付けてください。また、取り付けや調整の際、雨水や湿気が増幅器内部に入った時は、水分をよく拭き取ってからフタをしてください。
- ※防水パッキンにはシリコングリス等を一切塗布しないでください。
- ※フタ締付トルクは1200N・cm（約120kgf・cm）で均一に締め付けてください。
3. ユニットは必ず指定された品番の増幅器に取り付けてください。
4. アドレス設定スイッチの操作には調整ドライバを使用し、無理な力を加えないでください。

7. 付属品

固定ネジ……………2本
タイラップ……………1本